



Hello!
#13
May 2025

ただ事実だけを知りたいな!

カウンセラー、公認心理師 渡辺 貴子

ベアホープが活動を始めてから11年、特別養子縁組に興味を持ち、問い合わせをしてくださるご夫婦が増えています。愛ある家庭を必要とする子どもたちがたくさんいる中、とても嬉しいことだと感じています。子どもの福祉を推進する様々なプログラムはありますが、それだけでは十分ではなく、子どもが成長していくためには、常に子どもの成長を支える大人たちの存在が必要です。その中でも家庭は子どもを守り、社会で生きていくための力をはぐくむ、最小ながらも最強の集団なのです。

子どもたちが健やかに育っていくには、家族が健全であることが大切であると思います。特別養子縁組家庭も例外ではなく、健全な家族を築いていくために外すことができないキーワードは、真実告知やライフストーリーワークを通して「子供たちが自分の出自を知る権利が守られていること」ではないでしょうか。

以前は、養子縁組をされた子どもたちに、出自の話をしないほうがよいと考えられていた時代がありました。しかし養子自身が自分が養子であるどころか、自分の出自のことを知らず、養親家族のみが知っている状態である(言い換えると、家族の中で秘密がある)と、養子の子ども自身だけでなく、家族にも大きな弊害が起こることが数々の研究から知られています。

その影響は多岐にわたり、①現実を歪ませ、②家族間の信頼や親密度を弱体化させ、③排除や分断を作り出し、④正直さや誠実さを壊し、⑤妄想を生み出し、⑥不安をかきたて、⑦羞恥心を抱かせる等 が挙げられます。

それぞれどのようなことなのか具体的に説明すると論文になってしまうので控えますが、家族が養子の子どもの出自を隠していくと、家族は「あなたは家族ではないのよ。あなたとは血が繋がっていないの。本当は血が繋がった子がよかったんだけど。どうしてあなたが養子になったのか聞かないで。普通の家族のイメージを守りたいから。」といったメッセージを養子である子どもに伝えている可能性があるのです。子ども側からすると「自分は恥ずかしい存在なんだ。本当は自分の生い立ちのことを知りたいのに誰も教えてくれない。自分はいつもいい子じゃないと捨てられるんだ。親は取り繕っていて信用できない。大人を信用するもんか。」と自分を肯定的にとらえることができず、親が求めていると思うマスクをつけて、不安を抱えながら生きていくことになりかねないのです。

健全な愛のある家族を形成していくための第一歩は、自分の事を長所と短所を含めてよく知り、家族間で引き継がれている不健康な部分(例:気に入らないことがあると沈黙して、何も伝えない。自分の要求に従わせるために、操作的な言動をとる等)を断ち切る決断をすることです。

けれども、自分一人だけではこのような作業をするのは難しいものです。ベアホープでは、特別養子縁組に興味を持っているご夫婦のためのイベントであるベアカフェや、すでに養子を迎えて子育て真っ最中のご家族のために、真実告知講座・ライフストーリーワークなど、様々なプログラムを通して、愛のある家族を形成するお手伝いをしています。

Bare Cafe in Osaka

Mar 1 2025



ベアカフェを開催しました！

ベアホープでは、2019年より、特別養子縁組を検討中のご夫婦が、ベアホープでお子さんをお迎えした養親家族(ベアーズ)にご質問いただける「ベアカフェ」を開催しています。これまで、ベアカフェは東京のみで開催(コロナ禍ではオンラインで開催)していましたが、毎度多くの方から「参加して良かった!」というお声を受けたこともあり、東京以外でも開催をという願いがありました。昨年5月に行ったチャリティ企画でのご寄付により、念願だった大阪でのイベントを、2025年3月1日に開催することが出来ました。

今回のベアカフェのアンケートでも満足度100%! 感想として、以下のようなお声をいただきました。

- ★参加前は自分で調べたことしか分らなかったが、実際にベアーズの方からお話を聞け、参加後は具体的にイメージを持てたのがよかった。
- ★周りに養子縁組をしている人がおらず、養子縁組のことを考え始めてから何かと不安を抱いていたが、幸せそうなベアーズの方達を見て少し安心した。
- ★スタッフの方と実際に話せて、具体的なイメージを持てたからよかった。
- ★夫婦で一緒に考え始める入り口としても、良い機会になると思います。



特別養子縁組家庭の生の声を聞ける機会は、多くはありません。制度について多くの方々に知っていただくため、今後も日本全国でベアカフェを開催し続けたいと思っています。



..... ベアカフェに登壇した養親さんからのコメント

Kさんファミリー

私たちが特別養子縁組を選択したきっかけ、夫婦で話し合ったことなどについてお話しすることで、養親希望者の方に少しでもお役に立てればと思い参加しました。参加者の皆さんからいろいろな質問を受け、特別養子縁組という選択は、私たちの人生にとって大きな転換点であったことを思い返す機会になりました。また当日はたくさんのベアーズの方々とお話することができ、貴重な経験になりました。これを機に今後も交流ができればと思っています。

Hさんファミリー

あの日のこと... ベアカフェに参加したあの日、そこには温かな家族が目の前にありました。ご家族の話が直接聞けるならばと参加を決めました。実際にお会いした瞬間、何と云うか私にはキラキラ発光しているように感じ、アットホームな雰囲気な中、どのご家族も親身に話を聞いてくれ、丁寧に質問に答えてくれました。「あんな風に温かな家族になれるのかな」と思い馳せながら、帰り道では体温が上がって心がほくほくしていたのを今でも思い出します。ベアカフェが大きなきっかけとなり私たちの今があります。私たち夫婦の背中を押してくれ、1歩踏み出す勇気をくれたあの日に感謝の気持ちでいっぱいです。

Life story work seminar

ライフストーリーワーク講座を開催しました！

ベアベアHOW【特別養子縁組家族のためのライフストーリーワーク】を開催しました。ライフストーリーワークとは、養子自身が自分自身を知る中で、出自を受け止め、そして自己を表現していくという、子ども主体のプロセスを支援していくワークです。そして、そのための第1歩が、養親が行う真実告知です。参加して下さった養親さんからは「真実告知の次のステップを知ることが出来た」とのお声もあり、お子さんの出自にこの先どのように寄り添い、ともに歩んでいくのかを考えていただくきっかけになったのではないかなと思います。



そして、研修最後で大変盛り上がったのが、ストーリーフォトの作成です。参加者のみなさんに養子をお迎えした日のお写真を持参していただき、デコレーションしていただきました。子どもに養子としてのライフストーリーがあるように、養親さんにも養親としてのライフストーリーがあります。ストーリーフォトを作成しながら、養親登録の手続きをする前や養子と初めて対面した時、そしてこれからの日々へ思いを馳せ、養親さん自身のライフストーリーワークを体験していただきました。

ベアホープでは引き続き、お子さんの出自に寄り添う養親さんの心の支えになれるような研修を行っていきたいと思っています。今年度も多くの養親さんのご参加をお待ちしております。



..... ライフストーリーワーク講座に参加した養親さんからのコメント

Hさんファミリー

日常生活の中で繰り返し真実告知はしていますが、子どもの成長に応じた取り組みを学びたく研修に参加しました。私自身産まれた時の出来事やその時の両親の気持ちを繰り返し聞いて育っていて、それがライフストーリーワークの一部であったことを知り、同じように子どもにやってみようと思いました。養親がどれ程努力しても子どもが知りたいと願う全ての情報を与えることはきっとできません。子どもが分からないことに落ち込んだり不安を感じている時には、分からなくてもありのままを子どもを愛していることを何度も伝えていこうと思います。

Nさんファミリー

私たちは、子どもが成長する中で、今までの真実告知の方法だけでよいのか不安を感じ、この研修に参加しました。ライフストーリーワークについて詳しく知らなかったものの、子ども自身が主体となり、自らの養子としての立場を確立するための作業であることを学びました。研修を通じ、子どもの成長に応じた情報の伝え方や、困難に直面した際の支え方を理解し、ベアホープのサポートの存在も心強く感じました。今後も子どもたちと共に悩み考えながら、安心できる存在としてライフストーリーワークを続けていきたいと思っています。

ご寄付について

昨年度(R6年度)は延べ374の皆様(法人・個人問わず)から総額2,711,264円のご寄付をいただきました。心より御礼を申し上げます。いただいた寄付金は、主に養育負担の大きいお子さん(病児・障害児)を受託した養親さんや、実親さんへの支援等に活用させていただきました。

養育負担の大きいお子さんに関するご相談は毎年増加傾向にあり、今後も減る見込みはないと考えられます。実親さんから直接ご相談をお受けする以外に、医療機関や行政等からご相談を受けるケースも珍しくありません。こういったケースの大半は、数年にわたる長期的支援を要するもので、昨年度もベアホープのケースワーカーは、北海道から九州地方まで、日本全国の医療機関・乳児院・児童養護施設等へ幾度も足を運びました。皆さまからいただく貴重なご寄付のおかげで、資金面の理由から支援業務を諦めることなく、社会的養護下にいる子どもたちの家庭養育実現のため支援を全うできることに、職員一同感謝しています。

引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



マンスリーサポーター登録のための 簡単3ステップ!



1. ベアホープのホームページへ アクセス



<https://barehope.org/support-us/>

2. サポーターページの1番下 「クレジットカードによる寄付のお申込み」 をクリック



3. 必要情報を入力して送信寄付タイミング 「毎月」を選択してください😊



一般社団法人 ベアホープ

養子縁組あっせん事業許可事業者(許可番号:30 福保保育第2762号)

〒203-0014 東京都東久留米市東本町 3-17 2F

TEL **042-420-6625** 妊娠相談受付時間/
平日9時~21時 土日13時~21時

E-mail office@barehope.org

URL <https://barehope.org>



ベアホープでは様々な背景の妊婦さんのニーズに応えるため、皆様からの経済的なご支援をお待ちしております。

ゆうちょ銀行 郵便振替口座 / 口座記号番号:00150-5-419253

口座名称(漢字):一般社団法人ベアホープ 口座名称(カナ):シャ)ベアホープ

ゆうちょ銀行 振込口座番号/ 預金種目/口座番号:当座 0419253 店名(店番):〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)

(社)ベアホープはキリスト教主義に基づき、すべての人が神様に愛され大切にされるべき存在だと信じ活動しています。

わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している エレミヤ31:3

I have loved you with an everlasting love Jeremiah 31:3